



目標入場者数
は30万人！



2026となみチューリップフェア開催基本計画 概要

ようこそ
砺波へ！



1 名称・会期・テーマ等

- ① 名 称 第75回砺波チューリップフェア
愛称:2026となみチューリップフェア
- ② テーマ 想いをつなぐ となみ花物語
- ③ 会 期 令和8年4月22日(水)～5月5日(火・祝) 14日間
- ④ 開場時間 午前9時00分～午後5時30分(最終入園5時)
- ⑤ 開会式 令和8年4月22日(水)午前10時～
チューリップステージ
- ⑥ 入場料 大人 **2,000円**《団体・前売 100円引き》
《web・コンビニ販売 200円引き》
小人 **100円**《小人は割引対象外》
※70歳以上の有料入場者には、会場内飲食等で使用
できる「500円商品割引券」を総合案内所で配布
※小学生未満は入場無料
※障がい者手帳提示者及び介助者1名は入場無料
- ⑦ 入場券 販売開始日 令和8年3月1日(日) ※予定
(全国のコンビニエンスストア、Webにて販売)
※前売期間 販売開始日～4月21日(火)
- ⑧ 交通整理料 普通車 500円
マイクロバス 1,000円
大型バス 2,000円

2 会場・花壇・展示等

- 300品種**350万本**のチューリップ
- 特色ある花壇や展示
- チューリップを中心に色とりどりの花を取り入れた花壇
- テーマを表現したチューリップの展示
- 球根出荷量日本一を誇るチューリップの品質をPR



チューリップタワー・大花壇・円形花壇



- ・チューリップタワー:公園のシンボルとして人気
- ・大花壇:21万本のチューリップで迫力の地上絵
- ・円形花壇:モニュメントと鮮やかな植込デザイン

新規展示等

- ・チューリップスカイウォーク法面、
水車苑エリア、南門エリア(チュー
リップステージ裏)に新装飾を実施
- ・水上花壇、チューリップファームの
規模拡大

花の大谷



高さ4m、長さ30mにも
なる迫力の花壇は会期前半
と後半で大谷の彩りが変化

水上花壇



水面に映る幻想的な
チューリップを見ることが
できる水上花壇

彩りガーデン



会場内で展示している
300品種のチューリップ
を一堂に紹介

バブルスカイ



色とりどりの風船と影が
人気のフォトスポットは、
規模を拡大して実施

3 特別展(砺波市美術館)

2026となみチューリップフェア特別展「たじまゆきひこ展」



過去の展示風景(堺市美術館)

子どもから大人に長く愛されている
絵本『じごくのそうべえ』の作者である
田島征彦は、大阪府堺市で1940年に
生まれ、敗戦後は父の故郷・高知県の山村で幼少期を過ごしま
した。荒々しく豊かな四国の自然の中での生活は、後の田島の
作品に大きな影響を与え、自然への畏敬や土俗的な信仰を表現
することに繋がりました。伝統的な技法である「型絵染」を用
いながら、新しい可能性に挑戦し続け、自己表現を貫いた田島
征彦のダイナミックな染色作品や絵本原画の世界を紹介します。



4 その他

ネモフィラの丘



面積を拡大して、一面
に広がる青色の「ネモ
フィラの丘」を創出

新規事項など

- ・安心、安全のための園内設備や通信環境のより一層の
充実による満足度アップ
- ・南門周辺整備エリアの展示及び休憩施設の充実
- ・園内各種決済(物販・飲食等)のキャッシュレス化を推進

